



言葉のつながりで科学ニュースを可視化する試み
～九州大学発ベンチャーを目指す Lafla(らふら)プロジェクトの技術を活用～

概要

九州大学情報基盤研究開発センターの廣川佐千男教授が代表者を務める、Lafla プロジェクトと独立行政法人科学技術振興機構（JST）は、同機構が運営する科学技術情報ポータルサイト「サイエンスポータル」において、テキストマイニング技術により、同サイトに掲載される科学ニュースを言葉のつながりで表現する試みを開始しました。

■内容

今回開始したのは、独立行政法人科学技術振興機構（JST）の運営する「サイエンスポータル」にて公開されている「編集部が選ぶ科学ニュース」コーナーに掲載されているニュース記事に関して、その記事の文章を元に分析（テキストマイニング）を行い、特徴的に現れている言葉や、その言葉と併せて用いられている言葉を抽出し、各言葉のつながりを可視化して見せています。

言葉のつながりを表現する技術には、廣川佐千男教授が開発したテキストマイニング技術である「ConceptGraph®」および「MINDEX®」を利用しており、さらには、各言葉をクリックすることで、その言葉が含まれるニュース記事の一覧を簡単に表示するといった検索システムの機能も兼ね備えています。

また、言葉のつながりを可視化した「MINDEX®」では、サイエンスポータルサイトに対して、検索エンジンから到達した場合、自動的に検索エンジンに対して指定したキーワードを中心とした表示を行う機能も備えています。

■Laflaプロジェクト

Lafla(らふら)プロジェクトは、九州大学情報基盤研究開発センターの廣川佐千男教授のテキストマイニングに関する研究成果を活用して、情報検索・分析におけるビジネス展開を目指すプロジェクトであり、独立行政法人科学技術振興機構（JST）の平成18年度大学発ベンチャー創出推進制度にて採択され、現在起業に向けて活動を続けております。

【これまでの実績】

- 言葉のつながりで有価証券報告書を読む「有報 Lenz™」の試験公開開始
(2008.01.25 リリース) [URL : <http://www.yano.co.jp/ufolenz/>]
- 九州大学 Seeds 集を可視化する Web サービスを試験公開
(2008.01.31 リリース) [URL : <http://kyudaiseeds.lafla.imaq.kyushu-u.ac.jp/>]
- 言葉のつながりで政治家の政策提言や活動報告を可視化『選挙情報専門サイト「ele-log」』
(2008.07.02 リリース) [URL : <http://www.election.ne.jp/>]
- 株式会社矢野経済研究所 [URL : <http://www.yano.co.jp/>]
- 東洋高圧高圧技術トレンド分析 [URL : <http://www.toyokoatsu.co.jp/trend2007.html>]

※ 過去のリリース資料は、九州大学ホームページに掲載しております。
[URL : <http://www.kyushu-u.ac.jp/pressrelease/index.php>]

【お問い合わせ】

九州大学情報基盤研究開発センター

次世代検索エンジン開発プロジェクト 担当：御手洗、江島

電話：092-642-7386

FAX：092-642-3844

Mail：info@lafla.co.jp

URL：<http://scienceportal.jp/> (サイエンスポータルサイト)

URL：<http://lafla.co.jp> (Lafla プロジェクトホームページ)

URL：<http://www.jst.go.jp/> (独立行政法人科学技術振興機構：JST)

【サイエンスポータルサイトの画面例】

The screenshot shows the Science Portal website interface. At the top, there's a navigation bar with 'Science Portal' logo and various menu items like 'ホーム', 'ニュース', 'データベース', etc. The main content area features a news article titled '【2008年7月3日 女性就業率OECD調査でも見劣り】'. The article discusses the findings of a 2008 OECD report on female employment rates, noting that Japan's rate is lower than other OECD countries and that there are significant gaps in research support for women in science and technology. A sidebar on the left contains a '過去の記事' (Past Articles) section with a tree diagram for '雇用' (Employment) showing a 96.4% value and various sub-categories like '妨げ', 'メンテナンス', '検原', '消則', and 'アメルダ'. The bottom of the page has a '【2008年7月】' (July 2008) section with a list of recent news items.